

現場力を鍛える

IE実践研修

課題共有化による改善推進の土壌作り

ターゲット 次のような問題は発生していませんか？

- ・日々問題は発生しているのに、問題に気づけない！
- ・問題があると言うが、漠然としていて、何が問題なのか理解できない！
- ・相手に自分が問題と感じていることを理解してもらえない！

研修のねらい 自社の現場を題材にした実践演習で“使えるIE手法”を習得！

ものづくり改善に、IE（Industrial Engineering）手法は欠かせません。しかし、現場の第一線で実際に活用できる人は減少しており、各社では改めてIE手法の育成の必要性が見直されています。IE手法を習得する際に注意したいことは、知識レベルの学習カリキュラムでは実際の場面で使える力は身につかない点です。

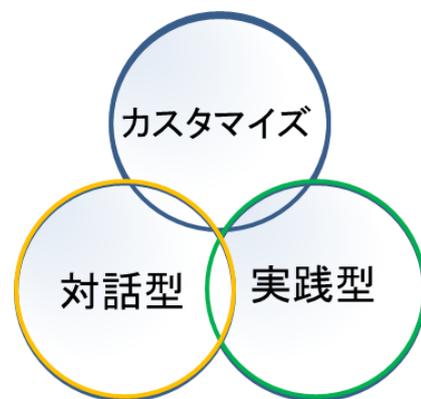
本研修は、貴社のリアルな現場を題材に、IE手法の実践的活用法を学び、改善活動を推進できるようになることをねらいとしています。また今、起きている課題の共有化により受講者に連帯感が生まれます。更に研修受講後は参加者間で共通言語が生まれ、コミュニケーションの活性化が期待できます。

【標準プログラム】 現場にある実際の問題を活用し、実践的に学びます！

| 時間 | 研修内容 |
|-------------------|--|
| 1日目 9:00~11:30 | 1. オリエンテーション ・研修目的、進め方の説明 2. IEの基本 ①現場におけるロス・ムダとは ②IE手法の目的 ③IE手法の現場活用 3. ケーススタディの検討 ※事前準備：現場作業VTR撮影 ①現場の問題とは ②問題とは何か ③誰にとつての問題か |
| | 4. IE手法演習(1) 工程分析、作業分析により、ロス・ムダを発見する！ ①P-Q分析 ②多品種工程図 ③ラインバランス ④時間研究 ⑤ワークサンプリング ※上記手法を活用し現場の問題を分析する ※状況に応じ、個別とグループ毎により課題を推進する 5. まとめた内容の発表（個人又はグループ毎） ※午前に問題提起した内容との比較を実施 |
| 2日目 9:00~12:00 | 6. IE手法演習(2) 人と設備、付帯作業の改善 ⑥連合作業分析（標準サイクル作業） ⑦運搬活性 ⑧レイティング ※上記手法を活用し現場の問題を分析する |
| | 7. 現場課題のまとめ（グループ毎） 8. 現場課題の発表会（グループ毎） 9. クロージング |

経営維新の研修・セミナー

3つの特徴



※上記プログラムは標準プログラムです。ご要望に応じて内容・期間等についてアレンジが可能です。